

第2回斐伊川水系宍道湖北西域川づくり検討委員会 議事要旨

日 時：平成 29 年 10 月 2 日(月)14:00－16:00

場 所：出雲市平田支所大会議室

出席者：別紙出席者名簿のとおり

報 道：1 社 傍聴者：無し

議 事

1. 第1回委員会意見への対応について

資料1について事務局より説明

2. 住民意見聴取（アンケート）集計結果

資料2について事務局より説明

3. 斐伊川水系宍道湖北西域河川整備計画（変更）原案

資料3～6について事務局より説明

4. 今後のスケジュール

資料7について事務局より説明

質 疑

・アンケートでは、「水質基準は満足しているが水が汚い」は、**止**水域で水が流れないことが原因か。水草が多いとあるが、ヨシ多いのか、オオカナダモか。

→（事務局）水の流れは、平田船川の河口部の汐止め堰があり、流れにくい状況。水質は BOD を基準とし、濁り基準である SS とも基準を満足している。水草が多く、流れがないことから水が汚い回答が多かったと推測している。

また、植生状況は、湯谷川下流部はヒシが多く、上流部は、オオカナダモ、ヤナギモが見られる。

・ヒシが多いのはよくないと思うがどう考えているのか。

→（事務局）ヒシが多いのは課題と考えている。島根大学の先生にも相談しているが、水質に悪い影響はないと言われている。ヒシは、種が川底に沈み3～5年で数年に分けて発芽し、一度だけ刈っても残った種が翌年発芽する。毎年草刈りを続けていくことで、少しずつではあるが減らせると考えている。

・平田船川の改修に合わせて、地元では、堤防の除草を平成18年から10年間行った。雲洲平田船川も平成18年から8年間行い、現在もきれいな状況を保っている。雲洲平田船川の上流部は平成23年に小断面化され、2年前には河床掘削も行われ、少しは流れるようになったが、

水量が少ない状況。水質は悪くない。近くの斐伊川から取水ができないか考えるが、水利権の問題もあり難しい状況とは思っているが、何とか水を増やしてほしい。

→（事務局）雲洲平田船川については、斐伊川から水を取水することはできないが、第1回委員会でも多くの意見をいただいている。それを踏まえ、事務局としても9月に実際にポンプを使って水の流れが発生するか試験施工を実施した。その結果も踏まえ、河川整備計画とは別に「雲洲平田船川河川環境整備計画」を策定中。

・平田船川河口部の堤防について、農政局が汐止め堰完成に伴い外島水門を撤去した経緯を踏まえて整理されたものなのか。

→（事務局）外島水門の左岸側は、国による暫定施工を完成した状況で県に引き渡されており、川幅が狭い。将来的には左岸側は撤去し、外島大橋は架け替えが必要となるため、それに合わせて水門を設置すると説明していたが、意見を踏まえて再度検討します。

【委員会後、事務局で再検討し、以下のとおりとすることを委員に説明】

⇒宍道湖の計画高水位に対応した堤防の余裕高確保の施工区間、位置については、本文を「堤防の余裕高確保のための施設整備については、関係機関との調整及び今後の詳細な検討を踏まえて施工区間、位置を決定します」とし、図-4.1.3及び図-4.1.4も文章に合わせて変更します。

・湯谷川合流部にポンプについて、11t 増設し合計 16t でよいのか。今後整備が予定されている国営事業では、論田川において 24t 増設し合計 39t にする予定であり規模が違う。

→（事務局）農政局の国営事業のポンプ規模は、農作物に影響しない湛水を許容することを目標としている。一方、河川整備計画の目標は、昭和 47 年と同規模の洪水に対し、床下浸水を許容する目標としており異なる。

・国営圃場整備事業の期間は 10 年とされており、湯谷川上流に西代地区がある。河川整備が 10 年でそこまでできるのか、工程について国と調整してほしい。

→（事務局）国営事業とは今後、調整をしていかななくてはならないと考えている。湯谷川は、暫定整備とし、少しでも進捗を早めるよう努力はしていく。また、河川整備が進まないと圃場整備が出来ないということではなく、河川整備が進まなくても、圃場整備の河川への合流部で調整するなど方法はあるため、今後国と調整が必要と考えている。

・雲洲平田船川の木綿街道は観光の核となっており、水辺環境は重要。整備スケジュールはどのように考えているのか。管理道の目的は何か。

→（事務局）湯谷川や平田船川の整備は、交付金で進めていく。雲洲平田船川は、毎年の修繕予算で上流の市街地区間から少しずつではあるが整備していく。

管理道は、川並保全基本計画にもイメージもあった。また、今後、整備する際の工事用道路も兼ねている。

・雲洲平田船川環境整備計画策定に着手いただいたことは感謝している。9/13 ポンプの試験施工は、地元の方も喜んでいて。現在、木綿街道は、商工会議所、市、県の観光部局と共に観光地としてステップアップを目指し努力していただいている。木綿街道も街並みは良いが、川並が良くないのは、観光地として良くない。河川改修の期間は30年であり時間がかかる。ポンプで水の流れるのであれば、ポンプ設置を少しでも早く実現してもらいたい。

→（事務局）予算状況も考慮しながら、早く実現ができるよう努力したい。

・本文 P3「妻入り土蔵造り」→「切妻 妻入り塗家造り」、P20「平田舟」は現在運行していない。

→（事務局）表記を修正する。

・雲洲平田船川の B 区間の藻を撤去してほしい。A 区間も流れがないため、環境改善してほしい。

→（事務局）A 区間は、今後、河川の小断面化を考えている。

以上